

けやき

おうら病院広報誌
2024年2月号

今月のTOPICS

- 着任のご挨拶と薬を取り巻く近年の問題について
- どうする？残薬問題
- 老健棟増築工事の進捗状況～「地鎮祭」を行いました～
- 心肺蘇生講習会を開催
- 安全で快適な『療養環境の整備』に努めています



やさしさに出会う医療を やすらぎに出会う医療を そして生きがいに出会う医療を

◆おうら病院基本方針◆

- 患者様の権利と意思を尊重し、合意と理解に基づく患者様主体の医療を行います
- チーム医療を実践し、効率的・効果的な業務を遂行します
- 感染対策を徹底し、安全な医療提供体制を構築します
- 地域の医療機関・福祉施設と密な連携を図り、地域医療の発展に貢献します
- 職員一人一人が技術のさらなる習得に励み、最良の医療の提供を目指します
- 医療資源の適正利用と健全経営を持続します



新「けやきちゃん」と「ケアきち」

着任のご挨拶と 薬を取り巻く近年の問題について

昨年7月より、赴任いたしました薬剤部の石原です。

令和5年を振り返ってみると、薬剤師の立場からすると「病院に必要な薬が入らない」というのが最大の事件でした。2021年から医療用医薬品の出荷調整が始まり、昨年も注文した薬が入らない、または納期が遅れるという状況が続いていました。



日本製薬団体連合会の調査では9月時点で、ジェネリック医薬品の19%、数にして1700余りの品目で出荷が限定され13%・1200余りの品目で供給が停止されています。

その原因として新型コロナ、インフルエンザなどの感染症による需要拡大もありますが、一番の要因はジェネリックメーカーの不正問題です。製造工程や品質管理の不正が明らかになり、業務停止や改善命令を受け、多くの医薬品の供給がストップしました。

ジェネリックメーカーは同じ成分の薬を数社で製造していますが、ある1社の製造が止まると、その分の需要を他社が賄いきれず、品薄になり薬が入らない状況になります。それにより、医師が患者さんに合った薬を処方しても、薬局に在庫がないという事態が続いています。代替えになる薬がある場合はまだ良いですが、同種同効品が全て入らない場合もあり、なにより患者さんに不安や負担をおかけしています。そしてその状況は年が明けても継続しています。

ジェネリック医薬品は医療費や患者負担を抑えるため必要なものですが、なんとかこの状況を早期に改善していただき、再発防止に努めていただきたいと思います。

2024年は年明けから大きな災害、事故が発生しました、これからは平穏な一年で過ごせますよう願うばかりです。

薬剤部長 石原 彰

もう1つの課題… どうする？ 残薬問題

残薬とは、飲み残しや飲み忘れなどが原因で患者様の手元に残ってしまった薬のことと言います。その原因の1位は『飲み忘れが重なった』ことと言われています。そのほか、自分で判断し飲むのをやめた、新たに別の薬が処方された、飲む量や回数を間違えていた、別の医療機関で同じ医薬品が処方された、副作用が怖くて飲めない、残薬があると医師に言い出せない、などが理由のようです。

薬剤師会の調査では、在宅療養する75歳以上の高齢者だけでも年間約500億円相当の残薬があると試算されており、医療費削減のためにも残薬解消は優先度の高い課題となっています。

また、問題は医療費だけではありません。指示通り服用しないと薬の効果がなく治療が遅れたり、薬の使用期限が過ぎて効果を得られない、効果がないと判断され、より多くの量が追加され、さらに残薬が増えてしまう…など患者様自身の治療にも問題が発生してしまいます。

この残薬問題、ドキッとした方もいるのではないでしょうか。心当たりがある方は、かかりつけ医または薬剤師までご相談ください。処方の調整や管理方法のアドバイスをお伝えします。



老

健棟増築工事の進捗情報

工事中



～「地鎮祭」を行いました～

病院棟と透析棟の連絡通路解体工事が完了し、仮設の舗装通路が完成しました。
いよいよ本格的な建物の建築工事が開始となります。
1月22日（月）には、工事の安全を祈願して地鎮祭が執り行われました。



病院棟と透析棟をつないでいる連絡通路を解体しました



患者様が安全に歩行するための仮設道路を構築しました

心

肺蘇生講習会を開催

邑楽消防署の救急救命士に講師としてお越しいただき、心肺蘇生講習会を開催しました。

12月5日（火）、12月26日（火）の2日に分けて全職種を対象に人体モデルを使用して胸骨圧迫（心臓マッサージ）、AEDの適切な使用方法について理解を深めました。



胸骨圧迫訓練の様子

安

全て快適な『療養環境の整備』に努めています

患者様が安全で快適な入院生活を過ごすことが出来るよう、医療安全や院内感染対策に熟知した多職種チームが、定期的に院内の巡回をしています。

また、療養中でも患者様に季節を感じていただけるよう、リハビリを兼ねた制作等も行っていただいている。1月には、全ての入院ベッドに備え付けの衣類を収納するためのチェストを入れ替え、これまでよりも使い勝手が良くなりました。当院では、テレビや冷蔵庫もご自由にご利用いただけます。



医師、看護師、検査技師による
感染対策のための巡回



患者様によるリハビリ制作



新しいチェストは使用感に
こだわったオーダーメイド

外来担当予定表

<令和6年1月1日現在>

	月	火	水	木	金	土
午前	1 秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	中村 (循環器内科)	岩前 (呼吸器内科)
	2 松清(立) (腎臓内科)	関上 (循環器内科)	松本 (1・3週) (腎臓内科)	須藤 (泌尿器科)	松清(立) (腎臓内科)	東大医師 交代制 (リウマチ科)
	内視鏡		植木 (2・4週) (腎臓内科)	小島 (2週・4週)		
午後	1			岩前 (呼吸器内科)		

※（ ）は医師の専門科目であり、一般内科診療も行います。

※都合により、担当医師が変更となる場合があります。

※午後の外来診療は木曜日のみです。

※診療時間外の急患・救急対応を致しますので、受付もしくはお電話にてご相談ください。

《受付時間：(午前) 8時15分～11時30分 (午後) 2時30分～3時30分》

※木曜日のみ

《診療時間：(午前) 9時00分～12時00分 (午後) 3時00分～4時00分》

※木曜日のみ

《休診日：日曜日、祝祭日、月～水・金・土曜日午後、年末年始(12/30～1/3)》



患者様のご紹介は…

当院地域医療連携室までご連絡ください！

医療法人社団醫光会おうら病院

TEL: 0276-88-5678 FAX: 0276-88-5992

群馬県邑楽郡邑楽町篠塚3233-1